

日医発第 1256 号（地域）（健Ⅱ）

令和 4 年 9 月 2 7 日

都道府県医師会長 殿

公益社団法人日本医師会

会長 松本吉郎

（公印省略）

次のインフルエンザ流行期に備えた診療・検査医療機関のさらなる拡充のお願いについて

貴職におかれましては、これまで新型コロナウイルス感染症へのご対応にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

発熱外来診療体制を担う診療・検査医療機関の拡充につきましては、令和 4 年 8 月 26 日付日医発第 1002 号「診療・検査医療機関（発熱外来診療体制）の拡充について」や、同年 7 月 27 日付日医発第 786 号「発熱外来診療体制のさらなる強化について」等の文書を以て、重ねて貴会にご協力をお願いしてきたところです。

貴会をはじめ医療現場のご努力により、診療・検査医療機関は約 4 万施設（4 月 22 日時点公表率 89%）、また、地域医師会等の運営による地域外来・検査センターは 453 施設に達しており、貴会のリーダーシップの下、非常に多くの方々が地域医療を守るために従事されています。

新型コロナウイルス感染症の第 7 波は、直近の新規陽性者数等の数値は落ち着いてまいりましたが、依然として予断を許さない状況であり、また次の秋・冬におけるインフルエンザとの同時流行に備え、オミクロン株の特性に応じた現在の体制を維持し、充実させておく必要がございます。

それらの状況を踏まえ、去る 9 月 21 日に行われた都道府県医師会長協議会においてもお願いさせていただいた通り、改めて診療・検査医療機関の拡充について、貴職におかれましては何卒ご協力をお願い申し上げます。

また、自治体ホームページでの診療・検査医療機関の公表率に地域差がみられることから、各都道府県のご事情を踏まえつつこれを 100% に近づけること、同時に診療・検査医療機関の業務負担を軽減するため受診・相談センターを充実させること等についてご検討をお願いいたします。あわせて、土日祝日や連休、年末年始での発熱外来診療体制を強化し、さらに、陽性と判定した自宅療養患者に診療を実施することや、かかりつけの患者さん以外にも広くご対応いただくことにつきましてもご検討をお願い申し上げます。

以上、貴会におかれましては、貴都道府県等行政とのより緊密な連携の下、貴会管下郡市区医師会とご協議の上、各地域の実情に応じた診療・検査医療機関の拡充に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。